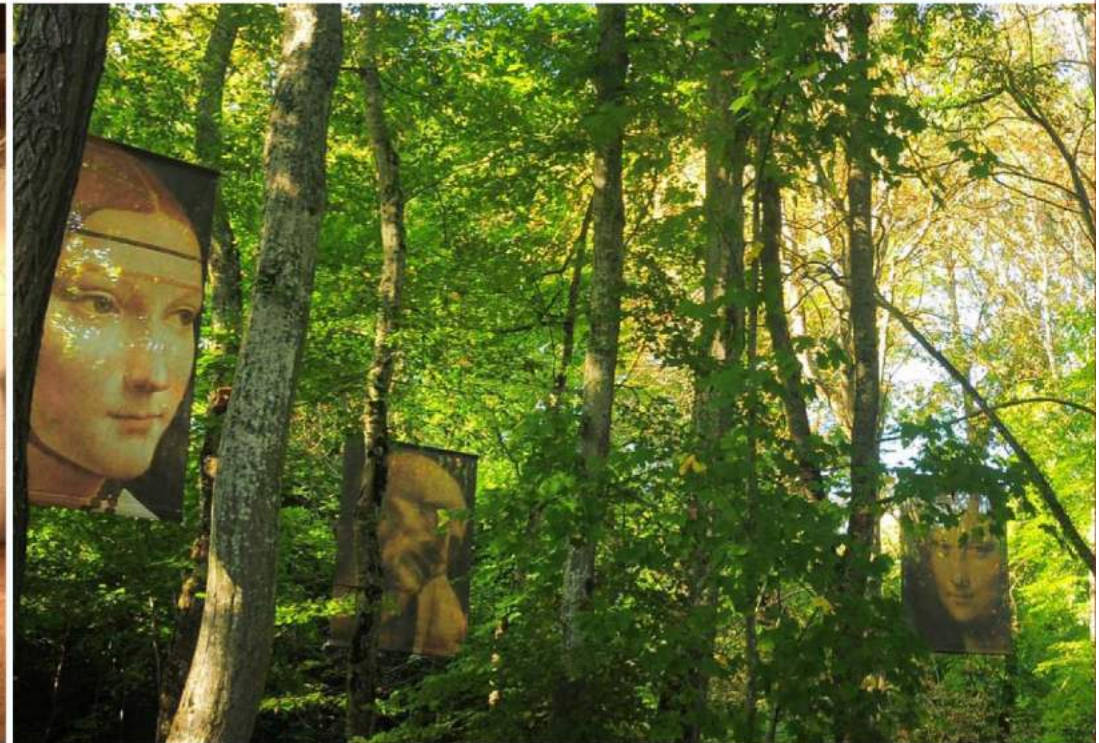




Château du Clos Lucé - Parc Leonardo da Vinci





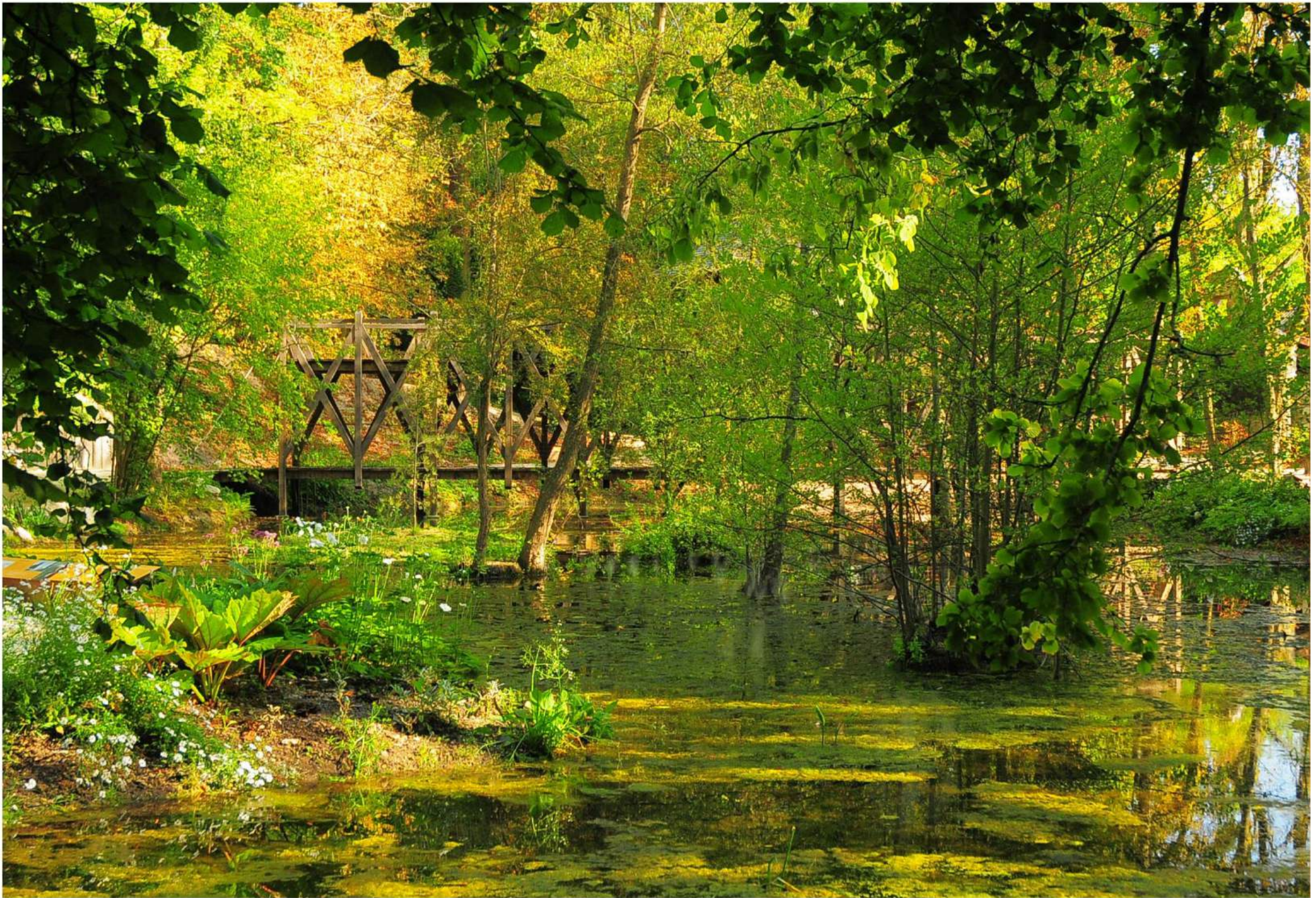


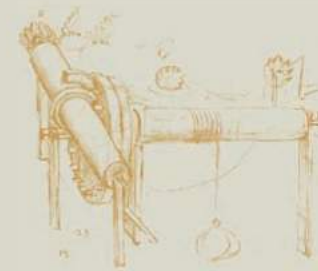
クロ・リュセ城 レオナルド・ダ・ヴィンチの住まい

フランソワ一世に招かれ、このクロ・リュセ城にてレオナルド・ダ・ヴィンチは生涯最期の三年間を過ごし、発明品の完成に力を注ぎました。多作でアイデア豊かな彼はエンジニア、建築家、演出家として活動し、宮廷の饗宴を計画しました。

王城から400メートル離れたこの屋敷で、ロモランタンに建設が予定されていたフランソワ一世のための理想の城の設計図を作成し、シャンボール城の二重螺旋階段を描きました。

今日、クロ・リュセ城はこのイタリアの巨匠の世界に触れることのできる、カルチャーパークとなりました。





レオナルド・ダ・ヴィンチの日常生活と奇抜な40の発明品

2世紀前からサン・ブリス家の所有地であるクロ・リュセ城では、レオナルド・ダ・ヴィンチの発明の全貌が展示されています。修復されたダ・ヴィンチの寝室とマルグリット・ド・ナヴァルの寝室、厨房、審議室、彼の弟子がフレスコ画を描いた礼拝堂、そして軍事技術、都市計画、機械工学をテーマにした発明品40点を御覧になることができます。空を飛ぶ機械や、水力学を応用した発明品も展示されています。レオナルド・ダ・ヴィンチの発明を分かり易く説明した3Dアニメーション6話が新しく加わりました。

レオナルド・ダ・ヴィンチパーク：景観コースからレオナルド・ダ・ヴィンチの足跡をたどる

パークの順路をたどることで、レオナルド・ダ・ヴィンチのインスピレーションの源について学ぶことができます。見学者が動かすことのできる実物大のマシーン20台とレオナルド・ダ・ヴィンチの絵画の細部を再現した40枚のスクリーンが、見学者をダ・ヴィンチのインスピレーションの世界へと導きます。

“レオナルドの庭園”：自然の声に耳を傾ける

クロ・リュセ城の自然的景観の中に初めて、ダ・ヴィンチによる植物のデッサン、地学や水力学、風景の研究のありさまがよみがえりました。ダ・ヴィンチが設計した二重橋は森林公園の中にドウヴォワール職人ギルドにより実現され、訪れる人々は当時ダ・ヴィンチがそうしたように、自然の中を散策し、植物、滝の眺めに心を打たれることでしょう。

The three masterpieces brought by Leonardo da Vinci at the Château du Clos Lucé : La Joconde, le Saint Jean Baptiste, la Sainte Anne



1516-1519

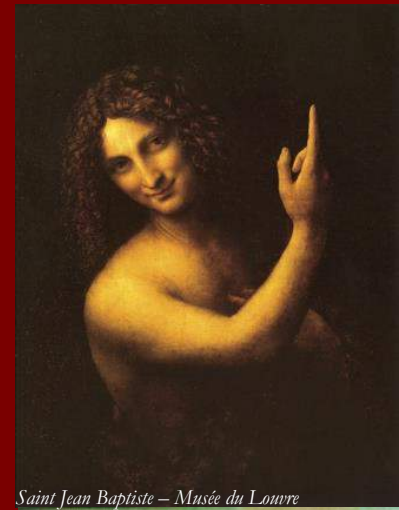
Leonardo da Vinci

at the
Château du Clos Lucé
His last residence in Amboise

クロ・リュセで開花したモナ・リザの微笑み

1516年の秋、64歳だったレオナルド・ダ・ヴィンチはフランス王の招待を受け、ロバの背に乗りアルプス山脈を越えました。その旅にはフランチェスコ・メルツィに代表される弟子たちと、忠実な召使であったミラノ出身のバッティスタ・ド・ヴィラニスが同伴しました。ダ・ヴィンチは、気に入っていた3枚の絵と手帳、クロッキー帳の全てを革の肩掛けかばんに入れてローマから運びました。これらは、彼の多岐に渡る研究と作品を良く表している貴重な資料です。クロ・リュセを訪れたアラゴン枢機卿の秘書が、「ジュリアーノ・デ・メディチの委嘱になる、実物から描かれたあるフィレンツェの貴婦人の絵画があった」と記しています。1503年から1514年にかけて描かれたこの絵画は、レオナルド・ダ・ヴィンチの有名なスフマート（ぼかし画法）の技術を表しています。

他の二点の絵画である、聖アンナと聖母子、そして洗礼者ヨハネを、ダ・ヴィンチはクロ・リュセ城にて完成させました。



Saint Jean Baptiste – Musée du Louvre



La Joconde – Musée du Louvre



Sainte Anne, la Vierge et l'Enfant – Musée du Louvre

是非観たい2つの常時展覧会

展覧会

“エンジニアとしてのレオナルド・ダ・ヴィンチ”

ダ・ヴィンチは彼自身の読書、シエナのエンジニアに関する研究、中世と古代に遡る科学と技術の知識から多くのインスピレーションを得て、情報を総括し、その発明の才から新しいものを作り出してゆきました。彼のデッサンを元に作成した約50の模型が、航空力学、工業生産マシーン、航海学、測定器、機械装置、土木、建築、軍事の多分野に渡るこの巨匠の才能を良く表しています。画家、土木・軍事エンジニア、宮廷人であっただけでなく、あらゆることに関心を持ち、着想を得て、自然を飽くことなく観察したレオナルド・ダ・ヴィンチの真の人物像を理解することができるでしょう。

展覧会 «レオナルド・ダ・ヴィンチとフランス» フランスの三国王とレオナルド・ダ・ヴィンチの 10年に渡る交友関係の精華

展覧会では、ダ・ヴィンチのミラノ滞在期（1507-1513年）とフランス滞在期（1516-1519年）の研究の成果を展示いたします。シャルル8世、ルイ12世、フランソワ1世のフランス三国王、そしてこの交友関係に貢献したルイーズ・ド・サヴォワとダ・ヴィンチの密接な繋がり、ロワール渓谷におけるルネッサンス文化導入の一翼を担いました。

2013年に希少な展示物が新しく加わり、展覧会とコレクションがより充実しました。

レオナルド・ダ・ヴィンチの騎馬のデッサンが展示されているホールに、ダビデとゴリアテ像のレプリカが配置されました。1430年から1432年にかけてドナッテロによって鑄造されたこの作品は、古代以後初めて鑄造された、大型ブロンズ像であるとされています。

また、他の新しい展示物の中には、レオナルド・ダ・ヴィンチの手稿を元に機械の仕組みを想像して作られた、ライオンのロボット¹もあります。機械仕掛の部分は鋸と鑪で形成された鉄製であり、鍛冶工場にて仕上げられたこのユニークな作品は、その作成に3000時間を要しました。

レオナルド・ダ・ヴィンチ著になる「絵画論」の、フランス初の二つ折り出版の古い文献も見逃せません。レオナルド・ダ・ヴィンチの著作は彼の死後1世紀を経てから出版されました。この仏-伊二言語表記版がパリで最初に出版されたのは、1651年のことです。



Practical information

Château du Clos Lucé - Parc Leonardo da Vinci
37400 Amboise - France
Tel.: +33 (0)2 47 57 00 73 - Fax: +33 (0)2 47 57 62 88
Email: infos@vinci-closluce.com - www.vinci-closluce.com

Location

In the centre of the town of Amboise, 400 metres from the Château Royal d'Amboise.
- 25 km from Tours (20 minutes)
- 10 km from Chenonceau

Opening dates

The Château du Clos Lucé - Parc Leonardo da Vinci is open all day every day all year round (except 25 December and 1 January). The landscaped walk is open fully in high season only, from March to November.

Opening hours

Closing of the castle and the park one hour after the ticket office.

January: 10am - 5pm	July – August: 9am - 7pm
February – March: 9am - 6pm	September – October: 9am - 6pm
April – June: 9am - 6pm	November – December: 9am - 5pm

Getting there

- ☛ **By road:** Paris-Amboise via the Autoroute Aquitaine A10 (exit Château-Renault-Amboise).
210 km, 2 hrs 15
- ☛ **By rail:** Paris-Tours-St Pierre des Corps, 1 hour by TGV (the station is 20 km from Le Clos Lucé, with connections by rail or road) or Paris-Amboise direct in 2 hours (Amboise station is 2 km from Le Clos Lucé)
- ☛ **By air:** airports at Amboise-Dierre (15 km) and Tours (25 km)



www.vinci-closluce.com